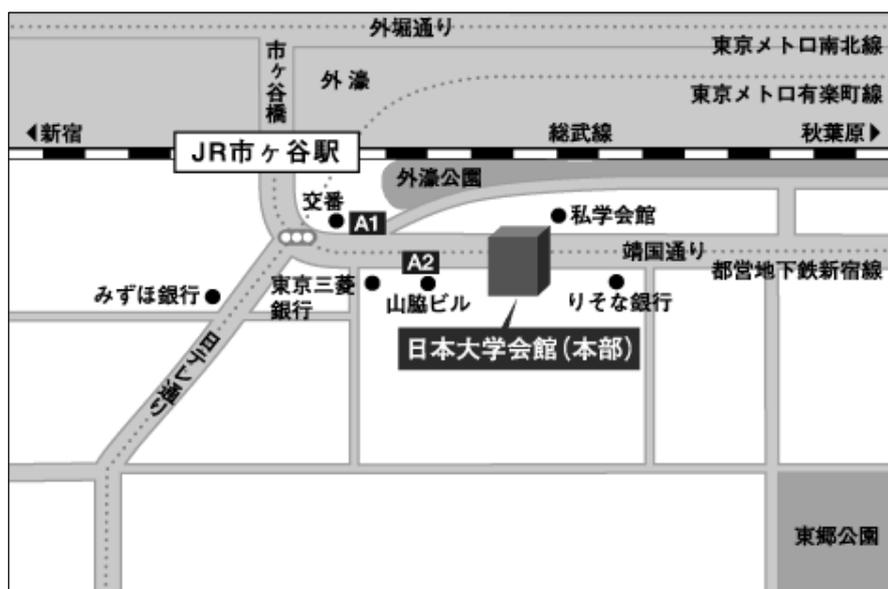


# 第29回環境情報科学 学術研究論文発表会 第12回環境情報科学ポスターセッション プログラム

標記の学術研究論文発表会を下記のとおり開催いたしますので、ふるってご参加ください。

- 日 時： 2015年12月1日（火）10:00～17:00（受付開始 9:30）
  - ※ 学術研究論文発表会（10:00～17:00）
  - ※ ポスターセッション質疑応答時間（11:00～13:00）
  - ※ 研究者交流会（17:00頃～18:30）〈予定〉
- 会 場： 日本大学会館大講堂ほか  
〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目8番24号  
TEL. 03-5275-8110
- 内 容： 環境科学に関する研究論文発表62題（内 口頭発表58題・ポスター発表4題）  
環境科学に関するポスターセッション33題  
研究者交流会
- 参加費： 正会員・賛助会員 2,000円・準会員 1,000円・非会員一般 3,000円・非会員学生 1,500円  
※研究者交流会（希望者のみ）： 正会員・賛助会員 3,000円・準会員 2,000円  
非会員一般 4,000円 非会員学生 2,500円
- 参加申し込み・問合せ先：  
一般社団法人環境情報科学センター 事業推進室  
〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-7 いちご九段三丁目ビル  
TEL: 03-3265-3916 FAX: 03-3234-5407 E-mail: member-jimukyoku@ceis.or.jp  
URL: <http://www.ceis.or.jp/>

## ■会場地図



出典) [http://www.nihon-u.ac.jp/access\\_map/](http://www.nihon-u.ac.jp/access_map/)

## 【交通】

JR 市ヶ谷駅下車 徒歩2分、東京メトロ・都営地下鉄 市ヶ谷駅下車 徒歩2分

2F A会場 [論文ポスター発表・環境情報科学ポスターセッション]

9:30	受付開始	
9:55	委員長開会挨拶	
<p style="text-align: center;">●ポスター展示時間 10:30～15:00 ●質疑応答時間 11:00～13:00</p>		
<p>●論文ポスター●</p>		『環境情報科学学術研究論文集29』掲載頁
A1	中山間地集落における農業水利施設の維持管理の変容－三重県伊賀市を事例に 本田 恭子 (岡山大学大学院環境生命科学研究科)	pp.1～6
A2	都市郊外大規模商業施設の緑化空間における設計構想と利用者意識・行動の関係性 松本 剛 (千葉大学大学院園芸学研究所) ほか	pp.7～12
A3	地域の生物に関する専門知識を有する市民と研究機関、行政の協働による調査の有効性と今後の課題～藤沢市における自然環境実態調査を事例として 島田正文 (日本大学生物資源科学部くらしの生物学科) ほか	pp.13～16
A4	寒冷地環境において農業水利施設に発達したひび割れ損傷の特性評価 鈴木哲也 (新潟大学自然科学系)	pp.77～82
<p>○環境情報科学ポスターセッション 出展予定ポスター一覧○</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道東部の西別川における、河川源流部の草地化と河川源流部水質の関連 佐々木章晴 (北海道当別高等学校園芸デザイン科)</li> <li>・ 自治体財産を活用した再生可能エネルギー事業の現状と今後の可能性 増原直樹 (総合地球環境学研究所)</li> <li>・ ベトナム中部農村部における植林政策の実態とアカシア林業の脆弱性に関する考察 時任美乃理 (京都大学大学院地球環境学舎) ほか</li> <li>・ 低炭素型企業経営に向けたグリーンサプライチェーンマネジメント (GSCM) 展開メカニズムの探索研究 孫 穎 (横浜国立大学国際社会科学研究院)</li> <li>・ 産地仲買人がつなぐ都市とマングローブ林－マングローブ林内外を行き来する漁業従事者の行動圏分析から 大友萌子 (ESRIジャパン(株)) ほか</li> <li>・ 都市近郊遊水地におけるツバメのねぐら入り観察者のもつ印象評価について 佐藤綾香 (日本大学短期大学部生物資源学科) ほか</li> <li>・ 絶滅危惧種ミズキンバイの生育と光条件との関係 坂庭茂奈美 (日本大学短期大学部生物資源学科) ほか</li> <li>・ 植物体色素を用いた一次生産者の安定同位体比測定方法の開発 根岸将史 (日本大学大学院生物資源科学研究科)</li> <li>・ 東京におけるエネルギー消費分布と気温分布に基づくCO2排出量の通年評価 平野 勇二郎 (国立環境研究所社会環境システム研究センター) ほか</li> <li>・ 黄土高原・退耕還林地区における食糧供給チャンネルに関する一考察－全国退耕還林模範県である呉起県を事例として 原 裕太 (京都大学大学院地球環境学舎) ほか</li> <li>・ 夏季屋外における短波・長波長放射環境の分析 山崎慶太((株)竹中工務店技術研究所) ほか</li> <li>・ TerraSAR-Xデータを用いたランダムフォレストによる作付作物の分類 藤野祐貴 (北海道大学農学部生物環境工学科) ほか</li> <li>・ 上海における公園緑地の経済的評価 馮 双聘 (首都大学東京・社会科学研究所)</li> <li>・ 三重県における地震と津波による住宅の災害廃棄物量の推計－南海トラフ巨大地震のケース 大西暁生 (東京都市大学環境学部環境創生学科) ほか</li> <li>・ 住宅の撤退による災害廃棄物量の軽減効果－南海トラフ巨大地震のケース 前田真佐樹 (東京都市大学環境情報学部) ほか</li> <li>・ 牛糞堆肥へのコーヒー残渣添加が大腸菌およびアンモニアガス濃度の変動に与える影響に関する研究 増田あかり (東京農業大学院農学研究科)</li> <li>・ 自治体を対象とした再生可能エネルギー発電に対する政策に関するアンケート調査の予備的分析 鷺見宏明 (名古屋大学未来材料・システム研究所) ほか</li> <li>・ ネパール地震における被災地の地域構造と復興課題に関する研究 坪井壘太郎 (ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター)</li> <li>・ ヤマビルの誘引方法及びトラップ開発 古川晃太郎 (日本大学大学院生物資源科学研究科)</li> <li>・ 東京都および神奈川県におけるオオカミの繁殖分布に影響する要因 夏川遼生 (慶應義塾大学環境情報学部) ほか</li> <li>・ 日本の一般廃棄物処理における住民によるゴミ分別に関する政策過程分析 小野 聡 (立命館大学政策科学部)</li> <li>・ 都市と農村の交流事業による地域活性化への効果～群馬県川場村と東京都世田谷区との交流事業を事例に 齋藤正広 (東京工業大学大学院総合理工学研究科) ほか</li> <li>・ 高速道路整備事業に関わる草本資源の処理方法と再資源化の有効利用評価 小野 聡 (名古屋大学工学環境土木建築学科) ほか</li> <li>・ 幹線道路周辺での大気浮遊粒子状物質中の六価クロムの吸入リスクレベル 姫 旭 (横浜国立大学大学院環境情報学府)</li> <li>・ 富士山北麓の来訪者の総合満足度 菊池佐智子 (山梨県富士山科学研究所)</li> <li>・ 港湾整備における環境補償の現状と課題 ドイツ・プレーマーハーフェンを事例に 竹内彩乃 (名古屋大学大学院環境学研究所)</li> <li>・ 建設材料への副産物利用における二酸化炭素排出量の試算 島本由麻 (新潟大学大学院自然科学研究科) ほか</li> <li>・ 用途地域の変遷に伴う都市構造物の物質蓄積および物質代謝の動態化 新重化 鴻 (名古屋大学工学部環境土木建築学科) ほか</li> <li>・ 土石系資源を対象とした物質ストック・フローチャートの構築 稲垣 空 (名古屋大学環境土木建築学科) ほか</li> <li>・ 宮城県気仙沼市舞根地区の津波浸水域におけるチョウ類種群 淳 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科) ほか</li> <li>・ Identifying structure and dynamic of sacred natural site to ensure its sustainability: A case study of Kabuyutan in the Sundanese traditional landscape, West Java, Indonesia Mohammad Zaini Dahlan (Graduate School of Global Environmental Studies, Kyoto University) ほか</li> <li>・ 多自然川づくりによる河川整備と背後の土地利用に見る緑の変化 小海 諄 (日本大学理工学部海洋建築工学科) ほか</li> <li>・ 博物館施設における標本資料の自然史標本・環境試料が両立した運用の検討 馬谷原武之 (茅ヶ崎市文化資料館)</li> </ul>		

研究者交流会 (17:00頃～18:30<予定> A会場にて)

**B会場 [セッション別 口頭発表]**

※当日の座長は変更になる可能性もあります。

9:30	受付開始			
9:55	委員長開会挨拶 (A会場)			
		『環境情報科学 学術研究論文集 29』掲載頁	セッション テーマ	座長
10:00~10:15	B1 安定同位体比を用いた外洋域と沿岸域のカタクチイワシの栄養段階および食物網構造の推定 宮地 俊作(日本大学大学院生物資源科学研究科)ほか	pp.17~22	生態系	近江 慶光 (千葉大学大 学院園芸学研 究科)
10:15~10:30	B2 海岸林の樹齢と耐津波性—東北地方太平洋沖地震津波で被災した海岸林の調査に基づいて— 伊藤政博(名城大学理工学部環境創造学科)ほか	pp.23~28		
10:30~10:45	B3 湿生植物ミズナラの保全に向けた流水環境下における生育・発芽特性 小島仁志(日本大学・生物資源科学部・くらしの生物学科)ほか	pp.29~32		
10:45~11:00	B4 日本語版活力感指標(SVS-J)の開発と検証 高山範理((国研)森林総合研究所 森林管理研究領域)	pp.33~36	景観・緑地①	笹田 勝寛 (日本大学生 物資源科学 部)
11:00~11:15	B5 韓国別墅庭園からの可視領域分析による景観特性の研究 金睿麟(千葉大学大学院園芸学研究所)ほか	pp.37~42		
11:15~11:30	B6 大都市近郊部における企業・学校等各種団体の農地活用の意向に関する研究 高橋富美((株)建設技術研究所)ほか	pp.43~48		

**11:00~13:00 環境情報科学ポスターセッション・論文ポスター発表(於 A会場)**

13:00~13:15	B7 京都府宇治市における明治中期以降茶畑の変遷について—寺院茶の歴史を有する茶産地の文化的景観に関する研究— 楊 真(東京大学大学院農学生命科学研究科)ほか	pp.49~54	景観・緑地②	鈴木 弘孝 (城西国際大 学 環境社会学 部)
13:15~13:30	B8 地域森林資源活用団体の活動内容と意識の構造的把握—滋賀県高島市の森林資源活用事例を対象に— 木村道徳(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)ほか	pp.55~60		
13:30~13:45	B9 北海道岩見沢市におけるTerraSAR-X 2重偏波データによるイネの生育モニタリング 野田 萌(北海道大学農学部生物環境工学科)ほか	pp.61~66	リモセン	辰己 賢一 (東京農工大 学農学研究 院)
13:45~14:00	B10 北海道岩見沢市におけるTerraSAR-Xデータを活用した作付状況のクラスタリング 小林伸行((株)スマートリンク北海道)ほか	pp.67~70		
14:00~14:15	B11 SfM-MVSシステムによるDSM体積を用いた植物体変化量の推定における課題 浅野悟史(総合地球環境学研究所)ほか	pp.71~76		
14:15~14:30	B12 在来品種の顕在化プロセスと展開課題 山口 創(神戸大学農学研究科食資源教育研究センター)	pp.83~88	農業	長坂 貞郎 (日本大学生 物資源科学 部)
14:30~14:45	B13 生物多様性に配慮した農業に対する都市住民の価値認識と特徴分析 大石卓史(近畿大学農学部農業生産科学科)	pp.89~94		
14:45~15:00	B14 減衰理論を用いた作物起源弾性波の検出精度向上に関する研究 島本由麻(新潟大学大学院自然科学研究科)ほか	pp.95~100		
15:00~15:15	B15 疏水の維持管理意識におけるアートツアーの効果の検証 鈴木朝道(神戸大学大学院農学研究科)ほか	pp.101~106	農村計画①	加藤 和弘 (放送大学 教養学部)
15:15~15:30	B16 「里山農業環境を持続させる権利」に関する考察 宮守代利子(早稲田大学大学院社会科学研究所)	pp.107~110		
15:30~15:45	B17 中国北京近郊農村地域におけるインターネットの利用実態とその満足度に関する研究 包 薩日娜(明治大学研究知財戦略機構)ほか	pp.111~116		
15:45~16:00	B18 ブータン西部における落葉資源利用と農業実践の変貌 小林 舞(京都大学大学院地球環境学舎・学堂)ほか	pp.117~122	農村計画②	藤稿亜矢子 (東洋大学国 際地域学部)
16:00~16:15	B19 ベトナム中部農村における少数民族の生業構造の実態分析と脆弱性の考察 時任美乃理(京都大学大学院地球環境学舎)ほか	pp.123~128		
16:15~16:30	B20 中国朝鮮族村落の薪材資源の利用における集休林の現在の役割 樊 磊(京都大学大学院農学研究科)ほか	pp.129~134		

<総合討論>(B15~B20)農村計画 座長:藤稿亜矢子

**研究者交流会(17:00頃~18:30<予定> A会場にて)**

**C会場 [セッション別 口頭発表]**

※当日の座長は変更になる可能性があります。

9:30	受付開始			
9:55	委員長開会挨拶 (A会場)			
		『環境情報科学 学術研究論文集 29』掲載頁	セッション テーマ	座長
10:00~10:15	C1 気温と傾斜に着目した非政策的要因の電気自動車普及に対する影響 石田純也 (東京工業大学大学院 理工学研究科) ほか	pp.135~140	都市交通	朝日ちさと (首都大学東 京 都市教養学 部)
10:15~10:30	C2 足首関節周りの加速度波形と意識調査による歩道舗装の硬度調査について 田中孝典 (国立大分工業高等専門学校都市環境工学科) ほか	pp.141~146		
10:30~10:45	C3 燃料電池自動車市場の創出 ~ZEVの現状とイノベーション理論の拡張 長谷川卓也 (日産自動車(株)・総合研究所)	pp.147~152		
10:45~11:00	C4 家庭用燃料電池システム導入前後のエネルギー消費実態から推定した一次 エネルギーと二酸化炭素排出の削減量 -神戸市を対象として- 尾崎 平 (関西大学環境都市工学部都市システム工学科) ほか	pp.153~158	気候変動・エ ネルギー	遠藤 真弘 (国立国会図 書館)
11:00~11:15	C5 LCA手法を用いた豚肉生産システムに伴う温室効果ガス排出量の推計 菱沼竜男 (宇都宮大学農学部農業環境工学科)	pp.159~164		
11:15~11:30	C6 確率動的計画法による家庭用燃料電池の最適運転モデル 小澤暁人 (東京大学大学院新領域創成科学研究科) ほか	pp.165~170		

**11:00~13:00 環境情報科学ポスターセッション・論文ポスター発表 (於 A会場)**

13:00~13:15	C7 マテリアルフローからみた八丈島の特性評価 白井浩介 (東京大学大学院工学系研究科) ほか	pp.171~176	廃棄物・資源	大西暁生 (東京都市大 学 環境学部)
13:15~13:30	C8 サトウキビ由来の原料を使用したバイオPETボトルのLCA 伊坪徳宏 (東京都市大学環境学部) ほか	pp.177~182		
13:30~13:45	C9 紀の川上流域における栄養塩類濃度管理による水道水の異臭味問題の対策 案検討 日野良太 (和歌山大学大学院システム工学研究科) ほか	pp.183~188		
13:45~14:00	C10 世界遺産富士山の来訪者管理のための情報提供のあり方に関する検討 山本清龍 (岩手大学農学部)	pp.189~194	レクリエーシ ョン・観光	小林昭裕 (専修大学 経済学部)
14:00~14:15	C11 歩行者のGPSログから生成されたネットワークによる歩行環境のモデル化と それに基づく行動分析: 「てくペコチャレンジ」を事例として 山口 純 (立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構) ほか	pp.195~200		
14:15~14:30	C12 日本の世界自然遺産及び富士山への入域料に関する支払意志額と規定要因 吉田謙太郎 (長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科)	pp.201~206		
14:30~14:45	C13 場の提供型と交流型間の利用者特性から見たマルシェの社会的意義に関す る研究 豊嶋尚子 (神戸大学大学院農学研究科地域連携センター) ほか	pp.207~212	市民参加・協 働①	伊藤 弘 (筑波大学大 学院人間総合 科学 研究科)
14:45~15:00	C14 住民主体の公園再整備における住民参加と利用・愛着の関係性に関する研 究~三重県名張市つつじヶ丘地区を対象として 松浦健治郎 (三重大学大学院工学研究科)	pp.213~218		
15:00~15:15	C15 大岡川下流域の河川利用に見られる地域連携の特徴 菅原 遼 (日本大学理工学部海洋建築工学科)	pp.219~224		
15:15~15:30	C16 野生復帰事業における住民意識の比較を通じたコウノトリやトキの地域資 源化について 本田裕子 (大正大学人間学部人間環境学科)	pp.225~228	市民参加・協 働②	杉本卓也 (千葉商科大 学 政策情報学)
15:30~15:45	C17 北京市大気污染防治条例の形成過程における市民参加に関する研究 胡 筋 (早稲田大学・アジア太平洋研究科)	pp.229~234		
15:45~16:00	C18 風力発電騒音問題の社会的要因に関する研究-M市における風力発電事業 の事例 尾形清一 (京都大学大学院経済学研究科)	pp.235~240		
16:00~16:15	C19 北アルプスにおける遭難実態と登山リスクに対する登山者の意識 小林昭裕 (専修大学経済学部) ほか	pp.241~246		

**研究者交流会 (17:00頃~18:30<予定> A会場にて)**

**D会場 [セッション別 口頭発表]**

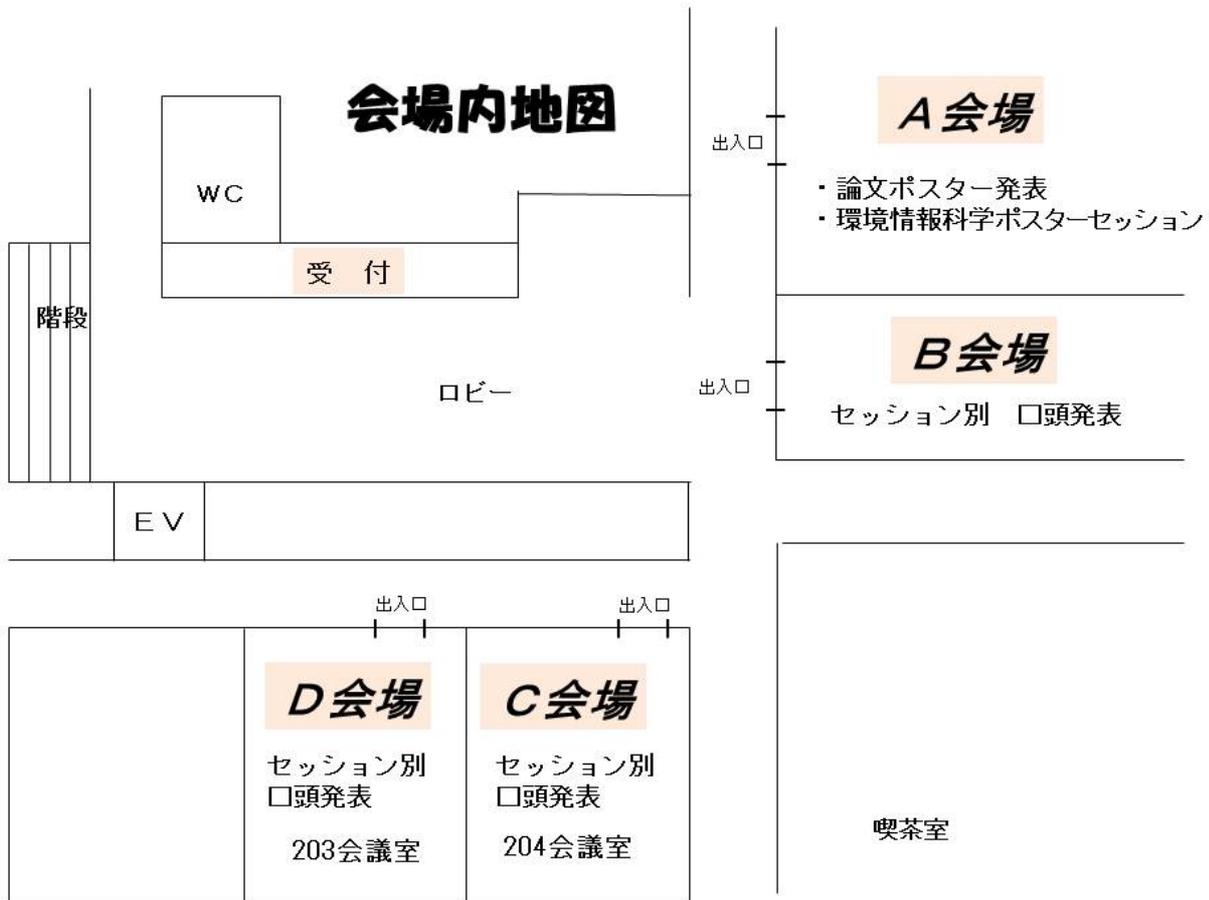
※当日の座長は変更になる可能性もあります。

9:30	受付開始			
9:55	委員長開会挨拶 (A会場)			
		『環境情報科学 学術研究論文集 29』掲載頁	セッション テーマ	座長
10:00~10:15	D1 未就園児親子のための自然体験型環境教育プログラムを通じた地域の子育て支援の可能性-西宮市における「未就園児親子のための森の子育て支援モデル事業」事例を通して-	pp.351~356	環境教育①	高橋正弘 (大正大学 人間環境学 科)
	吉積巳貴 (京都大学学際融合教育研究推進センター)			
10:15~10:30	D2 いわき市「土曜学習」における土壌教育に対する児童の評価と土壌に対する意識変化	pp.247~252		
	羽生一予 (筑波大学生命環境系) ほか			
10:30~10:45	D3 大学生の野外実習における環境意識の変化とその教育効果に関する研究	pp.253~256	環境教育②	瀬沼頼子 (昭和女子大 学 人間社会学 部)
	黒田貴綱 (日本大学生物資源科学部富士自然教育センター) ほか			
10:45~11:00	D4 野生復帰事業と環境教育に対する地域住民の意識と期待について	pp.257~262		
	高橋正弘 (大正大学人間学部人間環境学科) ほか			
11:00~11:15	D5 ラオス中部中山間地域における薪消費量と資源量の推定	pp.263~266	資源(国際)	三原真智人 (東京農業大 学 地域環境科学 部)
	木村健一郎 (国際農林水産業研究センター) ほか			
11:15~11:30	D6 インドネシアにおけるごみ銀行の活動と住民の意識との関連分析-バリクパパン市の事例	pp.267~272		
	村瀬憲昭 (東京工業大学大学院総合理工学研究科) ほか			

**11:00~13:00 環境情報科学ポスターセッション・論文ポスター発表 (於 A会場)**

13:00~13:15	D7 持続可能な開発指標を用いた日本の環境基本計画の評価	pp.273~278	持続可能性	平野勇二郎 (国研)国立環 境研究所)
	山下 潤 (九州大学・大学院比較社会文化研究院)			
13:15~13:30	D8 経済成長と二酸化硫黄 (SO2) 排出量のデカップリング -エコロジー的近代化の視点から-	pp.279~284		
	升本 潔 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科)			
13:30~13:45	D9 デカップリング指標は何を測定しているのか	pp.285~290		
	高井 亨 (鳥取環境大学経営学部経営学科)			
13:45~14:00	D10 企業内環境教育の効果と環境配慮行動の促進要因 -組織市民行動と組織風土の観点からの考察-	pp.297~302	消費者心理・ 行動①	本下晶晴 (国 研)産業技術 総合研究所)
	甲野 毅 (大妻女子大学家政学部ライフデザイン学科)			
14:00~14:15	D11 環境・消費志向に基づくスマートハウス購入行動の影響要因分析-八王子・多摩地域の戸建住宅購入者を対象として	pp.291~296		
	土屋依子 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科) ほか			
14:15~14:30	D12 消費者購買履歴データを用いた環境意識と環境配慮型商品購買行動の関連性分析	pp.303~308	消費者心理・ 行動②	吉田好邦 (東京大学大 学院新領域創 成 科学研究科)
	藤野友和 (福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科)			
14:30~14:45	D13 情報環境におけるインターネット利用と心理的レジリエンスとの関係性	pp.309~314		
	北上大樹 (創価大学工学研究科) ほか			
14:45~15:00	D14 大規模パブリックコメントの主題に対する態度の把握に関する基礎的研究	pp.315~320	環境行政	黒田貴綱 (日本大学生 物資源科学 部)
	岩見麻子 (愛知工業大学地域防災研究センター) ほか			
15:00~15:15	D15 中山間地域における不在村者の財の管理動向-鳥取県南部町における森林を中心に	pp.321~326		
	片野洋平 (鳥取大学農学部)			
15:15~15:30	D16 津波対策防災事業の遅延による厚生損失の推計	pp.327~332		
	奥山忠裕 (長崎県立大学経済学部地域政策学科)			
15:30~15:45	D17 ナムトゥン2ダムにおける非自発的移転後の収入格差の要因分析	pp.333~338	環境経済・経 営, 政策	松岡俊二 (早稲田大学 大学院アジア 太平洋研究 科)
	安藤早紀 (東京大学大学院新領域創成科学研究科) ほか			
15:45~16:00	D18 インドネシアトラジャにおける1975年から2014年の生業変化に関するネットワーク分析	pp.339~344		
	大出亜矢子 (京都大学大学院アジアアフリカ地域研究研究科) ほか			
16:00~16:15	D19 外来生物法制度はどのように成立したか?-ガイドライン, 認識共同体, 学習	pp. 345~350		
	上河原献二 (滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科)			

**研究者交流会 (17:00頃~18:30<予定> A会場にて)**



本発表会での発表論文が掲載されている『環境情報科学学術研究論文集29』は  
[j-stage<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ceispapers/-char/ja>](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ceispapers/-char/ja)にて  
 全文を公開しています。

また、冊子体は会場にて販売いたします。

定価：2,500円（税込：大会特別割引）